

2-6 批判についてのマルクス・エンゲルスの考え方

「仮借なくやること——これはあらゆる批判の第一条件だ」

「仮借なくやること——これはあらゆる批判の第一条件だ」「彼らのモットーはこういうものらしい。——罵倒によって敵を批判する者は思いやりがあるが、真の批判によって敵を罵倒する者は品位のないやつだ。」

③-[333]P409-411(エンゲルスあてマルクスの手紙 1877年7月18日)

「私はいずれ、私の見地からあなたの講演に仮借のない批判を、つまり、それだけが自由な科学にふさわしく、また科学的な人なら誰しも——たとえそれが自分自身に向けられていようとも——歓迎せざるをえないような、そういう批判を加えたいと存じます。」

③-[334]P411(オスカー・シュミットあてエンゲルスの手紙 1878年7月19日)